



## 平成29年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月13日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ  
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）城戸 一弥  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 管理部 部長（氏名）森田 徹 TEL 03-5331-5124  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無  
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年8月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	51,630	0.7	1,607	△10.4	1,760	△5.2	890	6.0
28年11月期第3四半期	51,273	5.3	1,793	68.5	1,857	57.2	840	85.9

（注）包括利益 29年11月期第3四半期 966百万円（25.4％） 28年11月期第3四半期 771百万円（62.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	55.99	55.90
28年11月期第3四半期	52.46	—

（注）28年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第3四半期	23,810	11,672	49.0
28年11月期	24,427	10,983	45.0

（参考）自己資本 29年11月期第3四半期 11,656百万円 28年11月期 10,983百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	7.50	—	10.00	17.50
29年11月期	—	8.50	—	—	—
29年11月期（予想）	—	—	—	8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

平成28年11月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭、記念配当 2円50銭

### 3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,900	1.3	1,907	△18.5	2,101	△14.1	905	△15.2	56.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

連結業績予想の修正については、本日（平成29年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・  無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：  有・ 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・  無  
② ①以外の会計方針の変更： 有・  無  
③ 会計上の見積りの変更： 有・  無  
④ 修正再表示： 有・  無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期3Q	16,770,200株	28年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	29年11月期3Q	857,300株	28年11月期	857,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期3Q	15,912,900株	28年11月期3Q	16,025,880株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年12月1日から平成29年8月31日）におけるわが国経済は、個人消費は力強さを欠くものの雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いております。

小売業界におきましては、個人消費が緩やかに持ち直しており、消費マインドの改善がみられるものの、長期にわたる天候不順や、節約志向を背景とする競争の激化、また人材面においては、有効求人倍率の上昇に伴い人材確保がより困難になるなど、厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした経営環境の中、当社グループは100円の価値を追求し、老若男女の幅広いお客様に支持される「信頼 No. 1」のブランドになることを目指して、浸透しつつある行動基準の「量から質へ」の転換を着実に定着させるため、商品・店舗・業務の全般にわたりお客様ニーズを踏まえ取り組んでまいりました。

商品戦略では、他社との差別化を推進するため、当第3四半期連結累計期間を通じて当社ホームページをプラットフォームとするSNSを通じた商品情報発信を強化してまいりました。特にお客様ニーズの高い女性向け趣味・嗜好品、コスメ、文房具、日用品カテゴリー等では実績のある著名キャラクターや人気ブロガーとのコラボレーションの第2弾、第3弾を展開するとともに、新たなコラボレーション企画を追加実施し、お客様に発信する商品ラインナップに、より一層の充実を図りました。

業務戦略では、店舗での4Sを基本とした商品発注から商品受け入れ、陳列にいたるまでの店舗内物流機能の構築をはじめとする基本ルールの周知・徹底により、店舗運営の効率化と標準化が進み、その効果が徐々に出てまいりました。また、店舗への訴求を高めるため、当社のオリジナルキャラクターである「はっ犬ワンドウ」の店舗への登場や、ワークショップの実施を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高516億30百万円（前年同期比100.7%）となりました。

営業利益16億7百万円（前年同期比89.6%）、経常利益17億60百万円（前年同期比94.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億90百万円（前年同期比106.0%）となりました。

新規出店実績62店舗（直営店45店舗、F C店13店舗、海外F C店4店舗）となり、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は979店舗（直営店670店舗、F C店293店舗、海外F C店16店舗）となりました。

各事業の業績は、直営店売上高455億72百万円（構成比率88.3%、前年同期比101.4%）、F C店への卸売上高55億14百万円（構成比率10.7%、前年同期比97.1%）、その他売上高5億43百万円（構成比率1.0%、前年同期比81.0%）となりました。

なお、セグメントの実績については、当社グループは単一セグメントのため記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は238億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億16百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、「現金及び預金」が7億99百万円減少いたしました。一方、増加要因といたしましては、「無形固定資産」が1億11百万円増加したこと等が挙げられます。

負債合計は121億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、「その他の流動負債」が6億89百万円減少、「未払法人税等」が5億6百万円減少、「買掛金」が3億29百万円減少したこと等が挙げられます。

純資産合計は116億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億88百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「利益剰余金」が5億96百万円増加したこと等が挙げられます。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期の業績予想につきましては、平成29年1月13日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日（平成29年10月13日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,853,097	3,053,218
売掛金	587,542	429,000
商品	5,477,541	5,551,850
未収入金	1,656,339	1,673,118
その他	770,754	827,705
貸倒引当金	△16,382	△16,457
流動資産合計	12,328,892	11,518,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,192,156	4,219,864
その他(純額)	1,379,792	1,457,748
有形固定資産合計	5,571,948	5,677,613
無形固定資産		
	372,726	483,877
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,904,219	4,964,218
その他	1,301,824	1,218,826
貸倒引当金	△25,928	△26,003
投資損失引当金	△26,000	△26,000
投資その他の資産合計	6,154,115	6,131,041
固定資産合計	12,098,789	12,292,531
資産合計	24,427,682	23,810,967
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,968,577	3,638,586
電子記録債務	3,515,417	3,654,243
未払法人税等	748,415	241,739
賞与引当金	—	101,879
資産除去債務	23,958	15,944
その他	2,006,062	1,316,642
流動負債合計	10,262,431	8,969,037
固定負債		
退職給付に係る負債	1,341,925	1,401,390
資産除去債務	991,233	1,023,923
負ののれん	399,904	371,339
その他	448,658	373,200
固定負債合計	3,181,721	3,169,853
負債合計	13,444,152	12,138,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,028,304	3,028,304
資本剰余金	3,065,674	3,065,674
利益剰余金	6,283,292	6,879,862
自己株式	△1,228,131	△1,228,131
株主資本合計	11,149,139	11,745,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,517	—
繰延ヘッジ損益	△111,483	△38,530
為替換算調整勘定	△56,738	△48,947
退職給付に係る調整累計額	△8,903	△2,225
その他の包括利益累計額合計	△165,608	△89,704
新株予約権	—	16,072
純資産合計	10,983,530	11,672,077
負債純資産合計	24,427,682	23,810,967

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
売上高	51,273,990	51,630,718
売上原価	32,108,493	31,773,367
売上総利益	19,165,496	19,857,350
販売費及び一般管理費	17,372,007	18,250,007
営業利益	1,793,489	1,607,343
営業外収益		
受取事務手数料	71,238	72,254
負ののれん償却額	28,564	28,564
投資有価証券売却益	—	31,960
その他	32,815	31,948
営業外収益合計	132,618	164,727
営業外費用		
支払利息	72	49
為替差損	46,661	4,706
雑損失	6,160	3,894
その他	15,276	2,741
営業外費用合計	68,169	11,392
経常利益	1,857,937	1,760,677
特別利益		
受取補償金	9,882	44,435
特別利益合計	9,882	44,435
特別損失		
固定資産除却損	38,044	139,627
減損損失	196,946	174,641
特別損失合計	234,991	314,268
税金等調整前四半期純利益	1,632,829	1,490,844
法人税等	792,046	599,885
四半期純利益	840,783	890,959
親会社株主に帰属する四半期純利益	840,783	890,959

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	840,783	890,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,063	△11,517
繰延ヘッジ損益	△68,169	72,952
為替換算調整勘定	20,590	1,458
退職給付に係る調整額	△18,745	6,677
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,314	6,332
その他の包括利益合計	△69,575	75,904
四半期包括利益	771,207	966,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	771,207	966,863
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。